

開倫塾 塾生・保護者各位

## No. 3 「5S(ごえす)を身に着けよう」

「開倫塾 12 の躰(しつけ)プログラム」で「学習習慣」を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 5S(ごえす)とは何ですか。

A : ローマ字で書くと S で始まる 5 つのことがらをまとめたものです。

- (1) 「整理」 seiri … 要らないものは取り除く
- (2) 「清掃」 seisou … きれいに掃除(そうじ)する
- (3) 「整頓」 seiton … ものと同じところに置く
- (4) 「清潔」 seiketsu … それらを継続する
- (5) 「躰」 shitsuke … 自分から進んで行う



Q 2 : 例をあげて、具体的に説明してください。

A : わかりました。それでは、私がいつも持ち歩いている「カバン」を例に、「整理(seiri)」から具体的に説明いたします。

- (1) 私は、いつも持ち歩いている「カバン」を 1～2 日に 1 回ずつ「整理」し、中に入っている要らないものを取り除き、捨てたり、別の決まった場所に置いたりしています。
- (2) なぜなら、いろいろなところで活動していると、新しい資料などがどんどん配布され、放っておくとすぐにカバンの中がいっぱいになってしまうからです。
- (3) 1～2 日に 1 回ぐらいは、要らないものを取り除くことが必要となります。  
\*このように「要らないものを取り除く」、これが「整理」です。

Q 3 : 「整理(seiri)」したほうがよいものは、「カバン」のほかにありますか。

A : あります。山ほどあります。

- (1) 「筆入れ(ふでいれ)」の中も「整理」しましょう。
- (2) 自分が使っている「机の上」「机の引き出しの中」「タンスの中」「ロッカーの中」も、時々でよいですから「整理(seiri)」したほうがよいと思います。
- (3) 本立てや本棚も時々「整理(seiri)」しましょう。  
\*身近なところから、少しずつ「整理(seiri)」をしてみましよう。



Q 4 : 「整理(seiri)」の次の「清掃(seisou)」とは何ですか。

A : (1) 「清掃(seisou)」とは、「整理(seiri)」し終わったら、「きれいに掃除(そうじ)すること」です。

(2) 「カバン」の中を「整理(seiri)」、つまり、「要らないものを取り除く」ことをしたあと、「カバン」の中をきれいに「掃除(そうじ)」しましょう。

(3) このように、「整理(seiri)」をしたら、そのあときれいに「清掃(seisou)」、つまり、掃除をすることが大切です。



Q 5 : 3つ目のS、「整頓(seiton)」とは何ですか。

A : (1) 「整頓(seiton)」とは、「ものは同じところに置くこと」です。

(2) 例えば、私の先ほどの「バック」の中は、できるだけこの「整頓(seiton)」をするように心掛け(こころがけ)ています。

①具体的にいうと、私の「バック」の前面にあるファスナーのついた小さな「ポケット」の中には、この10年来いつも決まったものが置いてあります。何だと思いませんか。

②それは、「スイカ」と「カギの束(たば)」です。私は電車やバス、地下鉄などに乗ることが多いので、そのときは「スイカ」を使います。また、私は自動車を運転しますので、自動車のカギは必要不可欠です。家のカギや開倫塾の本部事務所のカギも必要です。

③ですから、私はスイカとカギの束はいつも同じ場所、つまり、小さな「ポケット」の中に置いておくようにしています。

(3) このように、「ものは同じ場所に置く」という意味での「整頓(seiton)」を、カバンの中で行っています。



Q 6 : 「整頓(seiton)」しておくと、何かよいことがありますか。

A : (1) たくさんあります。私は、カバンの前面の小さなポケットの中に「整頓(seiton)」して「スイカ」と「カギの束」をいつも入れておきますので、「スイカ」と「カギ」を捜し回ったり、忘れたりすることが、めったにありません。

(2) 皆様の中で、「忘れ物」をする方、大切なものを「捜し回る」方は、「ものを同じところに置いておく」という意味での「整頓(seiton)」をしていないからではないでしょうか。

(3) 筆入れの中や机の上、机の中、タンスやロッカーの中、本立てや本棚を時々「整頓(seiton)」して、「大切なものは同じところに置く」ことを心掛けてみましょう。「忘れ物」や「ものを捜し回る時間」が、グンと減ってきますよ。



Q 7 : 「5S」の4番目の「清潔(seiketsu)」とは何ですか。

A : (1)「清潔(seiketsu)」とは、「①『整理(seiri)』②『清掃(seisou)』③『整頓(seiton)』をやり続ける、継続すること」です。

(2)例えば、私は、自分が持ち歩くカバンの前面の小さなポケットの中の「5S」は、この7～8年ずっとやり続けています。カバンの中は1～2日に1回は「整理」「整頓」「清掃」をしています。「スイカ」と「カギの束」は、いつもカバンの前面の小さなポケットの中に置き「整頓」をし続けています。



(3)このように、小さなことでも、小さな場所についても、大切と思われるところから1つ、2つとやり続ける、継続する。これが「5S」の「清潔」です。「5S」を継続し、清潔な状態を保つという考えはとても大切です。

Q 8 : 「5S」の最後の「躰(Shitsuke)」とは何ですか。

A : (1)「躰(Shitsuke)」とは、自分で「5S」をやると決めたのですから、「自分から進んで行うこと」です。

(2)例えば、カバンの前面の小さなポケットの中に「スイカ」と「カギの束」を入れておこうと決めたら、自分で決めたことなので「自分から進んで行うこと」です。

(3)また、みんなでこのようにやろうねと決めたら、「自分たちで決めたことは、自分から進んで行うこと」。これが、「5S」の第5番目の「躰(Shitsuke)」です。

Q 9 : 「5S」は役立つのですか。

A : (1)カバンの中や机の上、机の中、ダンスやロッカーの中、本立てや本棚など、身近なところで「5S」は役立ちます。

(2)家庭でも、例えば、玄関、台所、居間、トイレ、風呂、シャワールームなども「5S」を行えば、とても役立ちます。

(3)学校でも、教室や部活動で用いる体育館など、ありとあらゆる場所で、「5S」は役立ちます。

Q 10 : 社会に出ても「5S」は役立つのですか。

A : (1)学校だけでなく、ありとあらゆる職場でも「5S」は役立ちます。

(2)例えば、工場、建設現場、事務所、コンビニ、商店、ガソリンスタンド、病院、介護施設、電車や船舶、飛行機やジェット機など、文字通り、ありとあらゆる場所で「5S」は役立ちます。

(3)このように、家庭でも、学校でも、社会でもありとあらゆるところで、役に立つのが「5S」です。少しずつでOKですから、身近なところから「5S」を身に付けてください。日本国内だけでなく、世界各国どのような各地域でも「5S」は役立ちます。

Q11 : 「5S」の大切さが少しずつわかってきました。「5S」の「考え方」も大切なのですね。

A : その通りです。さすが、開倫塾の塾生ですね。何かものごとをやるとうとするときにも、「5つのS」で始まる「5S」の「考え方」はとても参考になります。

(1) ①例えば、「5S」の一番最初の「整理(seiri)」は「要らないものは取り除く」という意味です。

②やらなければならないことが、どんどん増えてきたときはどうするか。

③あれもこれもはできない。そんなときには、今やっていることの中でやめたほうがよいことは、よく考えた上でいさぎよくやめて、今必要なこと、これから必要なことを行う。これも「整理(seiri)」です。



(2) ①今やっていることをやめたあとは、きれいに「掃除(そうじ)」、「清掃(seisou)」、後始末(あとしまつ)をする。

②きれいに後始末をしたら、順序、手順をよく考える。これは、「ものは同じところに置く」「整頓(seiton)」の考えですね。

(3) ①一度始めたことはやり続ける、継続する(「清潔 seiketsu」)。

②自分で決めたこと、自分たちで決めたことは、人からやるようにといわれなくても、自分から創意・工夫(そうい・くふう)して進んで行く。これは、「躰(Shitsuke)」の考えです。

③このように、「5S」の「考え」は、ものごとをなしとげるときにも役に立ちます。

Q12 : なぜ開倫塾では「5S」を塾生の皆様にすすめるのですか。

A : (1) ①開倫塾の創業の地であり、現在も本社の所在地である栃木県足利市は、日本のみならず世界で最も熱心に「5S」と取り組んでいる街で、日本のみならず世界各地から毎日のように「5S」の視察団が訪問しています。

②また、2012年から2年ごとに「世界5Sサミット」が開催され、本会2020年で第5回目を迎えるほど、「5S」が盛んです。

③開倫塾もメンバーである足利商工会議所には「足利5S学校」があり、塾長はその役員を務め、また、開倫塾の先生は毎年1名ずつ5Sインストラクターの研修を受け、資格を取得しています。

(2) ①「5S」は、職場だけでなく、学校や家庭でも役立つものです。

②そこで、開倫塾では、足利5S学校の許可を得て「開倫5S学校」を開倫塾の全校舎で開校しています。

③少しずつですが、「5S」について、その基本的な考え方をお伝えしています。

(3)皆様のお役に立つと考えますので、少しずつでOKですから、「5S」に親しみ、チャレンジ、家庭や学校での生活、社会に出てから役立てていただければ、こんなうれしいことはありません。

今日は、「5S」についてお話をさせていただきました。最後までお読みいただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。

感謝